

市民と行政との協働に関する基本指針（素案） に対するご意見の内容とそれに対する市の考え方

平成21年3月5日

問合せ先：市民生活部市民参加推進課

電話：048-982-9685（直通）

市民と行政との協働に関する基本指針に対するパブリック・コメントを実施した結果、2件の意見をいただきました。提出された貴重なご意見について十分検討の上、それに対する市の考え方を次のとおりまとめました。貴重なご意見ありがとうございました。

1 募集期間

平成21年2月2日（月）から平成21年3月3日（火）まで

2 意見応募状況

- (1) 提出者 2名
- (2) 意見件数 2件
- (3) 意見提出方法の内訳

提出方法	件数
郵便によるもの	0件
ファックスによるもの	0件
電子メールによるもの	2件
意見箱に投かんされたもの	0件

提出していただいたご意見については、住所・氏名などの個人情報を除き、原則として全文をそのまま掲載させていただきました（ご意見とご意見に対する市の回答は次の頁をご覧ください）。

3 ご意見とご意見に対する市の考え方

No.	ご意見	ご意見に対する市の考え方
1	<p>素案8頁の「なぜ協働が必要なのか」の「なぜ」の部分を生活者の目線にとらえると、8頁(2)①の文章中にある「市民が求めるニーズも多様化・高度化」という文章を「市民生活は問題が多発・多様化・深刻化」に変えれば、伝わるものになると思います。</p>	<p>ご意見のあった指針素案3頁(2)①中の文章をより相手に伝わるものにするため、「市民生活は問題が多発・深刻化しており、市民が求めるニーズも多様化・高度化しています。」に変更させていただきます。</p>
2	<p>学校ほど地域との関係を作っていかなければならない場所にあまり親が関わっていないのでは？</p> <p>またはどう関わったらいいのかわからないのでは？子育てをしながら非常に強く感じます。先生は親を良く知らない、親は先生をよく知らない。学校には色々な生徒がいます。一人一人成長する過程で大切な場所です。近年、家庭のあり方も様々になって、自身も含め子供をどう育てていけばいいのか日々悩んでいる親御さんも多くいます。子供にとって環境は大切です。環境調整が必要な家庭もあります。吉川市で子供の相談を担っている方たちから、現状について聞いてみたいです。スクールカウンセラーやおおぞら相談員、さわやか相談員、など。クラスで気になる子に対して、どのような支援をしているのか？きちんとソーシャルワークの機能が果たされているのか？</p> <p>地域で学校を支える具体的な仕組み作りが必要ではないでしょうか？</p> <p>こどもについて意見交換ができるような場があると様々な立場から考えることができるのではないでしょ</p>	<p>学校をはじめ、市民一人ひとりが関わり合いながら、地域社会を形成していくことは、指針素案の冒頭部分でも触れている「住民自治」の実現に繋がっていくと考えています。</p> <p>また、ご意見いただいたように、「縦割り行政から横のつながりを大事にしていく」ことは、指針素案20頁(3)でも「縦割り組織から横断的に連携して機能する組織改革を進めます。」と触れているように、市民と行政がこれから取り組むべき方向性の一つとして大変重要なものであると考えています。</p> <p>今後、この指針が市民と行政の生きた教材として生かされるように、協働のまちづくりを積極的に推進していこうと考えています。</p>

	<p>うか？（親、子供、教師、民生委員、児童委員、などなど）</p> <p>教育（文部科学省分野）と福祉（厚生労働省分野）が連携をとれる関係になればいいと思います。縦割り行政から横のつながりを大事にしていくような。</p> <p>趣旨とずれた意見でしたら、申し訳ありません。</p>	
--	---	--